

札幌証券取引所
上場会社説明会



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

2011年7月5日

雪印メグミルク株式会社

(証券コード2270)

1. 会社概要

シートNo. 3 ~ 10

2. 東日本大震災の影響

シートNo.11 ~ 14

3. 雪印メグミルクグループ

中期経営計画(平成21 ~ 平成25年度)

シートNo.15 ~ 20

4. 平成23年3月期決算概要と

平成24年3月期業績予想

シートNo.21 ~ 28

5. CSR経営に関して

シートNo.29 ~ 34

6. その他

シートNo.35 ~ 40

会社概要

雪印メグミルク株式会社 合併までの沿革

雪印乳業株式会社

全国農協直販株式会社

ジャパンミルクネット株式会社

大正14年 「北海道製酪販売組合」創立

バター製造を開始

昭和3年 チーズの試作を開始

昭和25年 「雪印乳業(株)」創立

昭和47年 「全国農協直販(株)」設立

(全国農業協同組合連合会(全農)の100%子会社)

平成8年 ジャパンミルクネット(株)設立

(全国酪農業協同組合連合会(全酪連)の100%子会社)

平成12年 雪印乳業大阪工場食中毒事件

平成14年 雪印食品牛肉偽装事件

平成15年 雪印乳業の牛乳部門と全国農協直販(株)、ジャパンミルクネット(株)が統合し、日本ミルクコミュニティ(株)設立

平成21年 雪印乳業(株)と日本ミルクコミュニティ(株)が経営統合し、
共同持株会社「雪印メグミルク株式会社」設立

平成23年 雪印メグミルク株式会社が雪印乳業(株)と日本ミルクコミュニティ(株)を合併

会社概要



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

1	商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
2	設立年月日	平成21年10月1日
3	本店所在地	(本社)東京都新宿区本塩町13番地 (登記上本店)北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
4	資本金	200億円
5	代表取締役	代表取締役社長 中野 吉晴
6	上場取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
7	従業員数	4,989名(連結、平成23年3月31日)

代表取締役社長 中野吉晴



未来は、ミルクの中にある。
雪印メグミルク



昭和23年7月24日生
愛知県出身

略歴

昭和47年 雪印乳業入社

平成14年 九州統括支店長

平成17年 取締役家庭用事業部長

平成19年 専務取締役

平成21年 雪印メグミルク専務取締役

平成23年 代表取締役社長



未来は、ミルクの中にある。
雪印メグミルク

セグメント

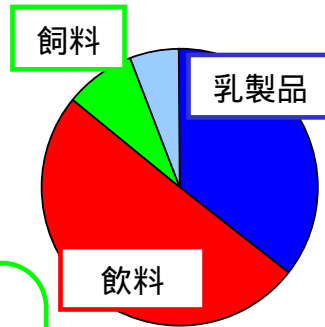
乳製品



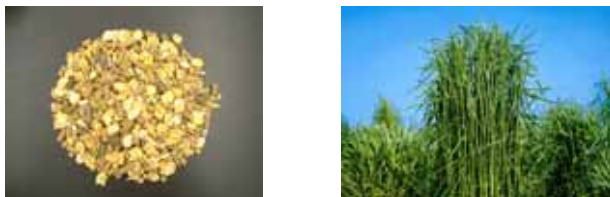
飲料・デザート類



[売上高構成比]



飼料・種苗



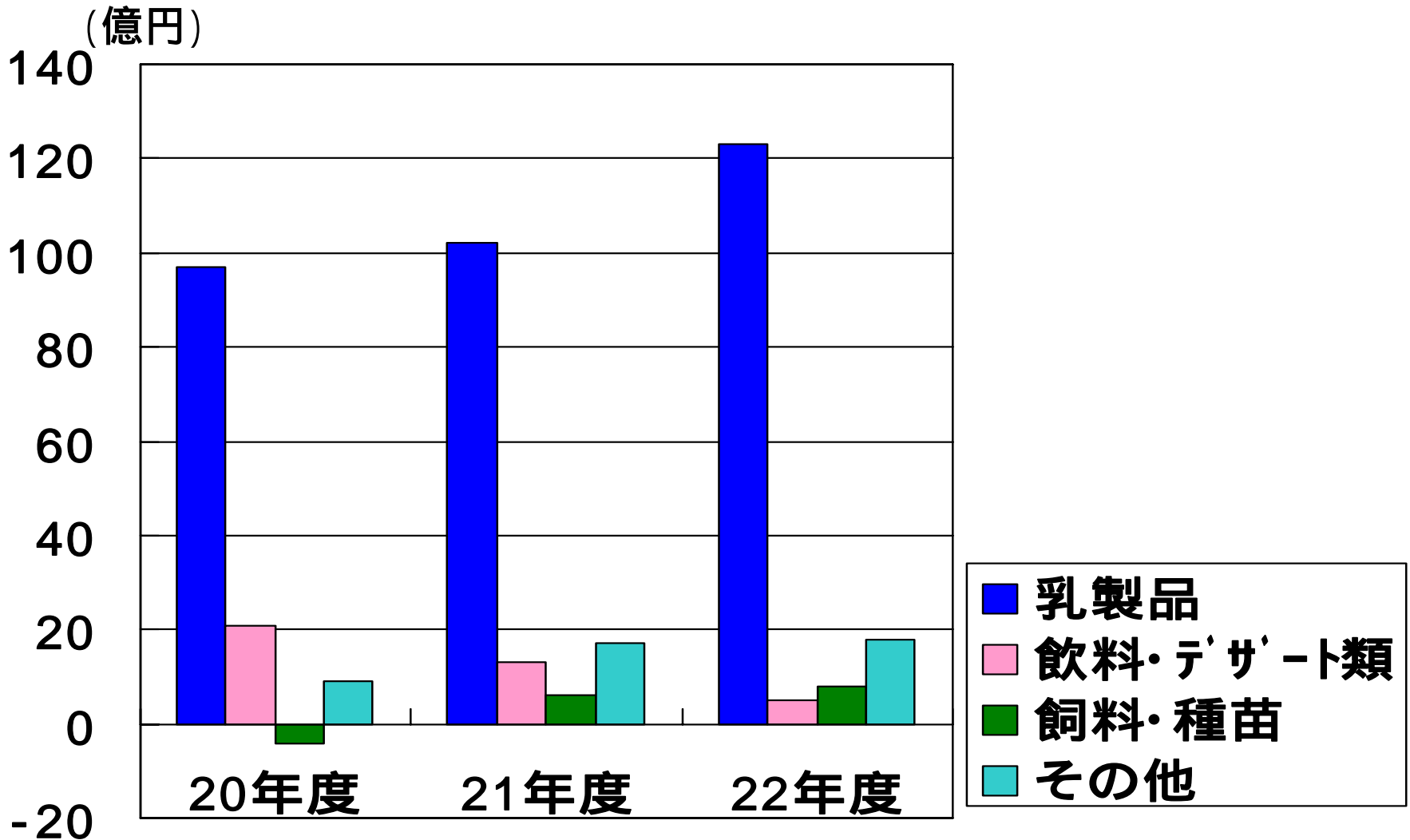
その他





未来は、ミルクの中にある。
雪印メグミルク

セグメント別営業利益の推移



雪印メグミルクグループ



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

主な子会社

乳製品	ビーンスターク・スノー株式会社（札幌市）、甲南油脂株式会社（神戸市）、チェスコ株式会社（新宿区）、雪印オーストラリア株式会社（ヴィクトリア州）、台湾雪印株式会社（台湾）
飲料・デザート類	ハヶ岳乳業株式会社（長野県）、株式会社エスアイシステム（渋谷区）、いばらく乳業株式会社（水戸市）、三和流通産業株式会社（さいたま市）、みちのくミルク株式会社（宮城県）
飼料・種苗	雪印種苗株式会社（札幌市）、道東飼料株式会社（釧路市）
その他	株式会社クレスコ（東京都）、株式会社雪印パーラー（札幌市）、株式会社YBS（新宿区）、ニチラク機械株式会社（江別市）、有限会社ロイヤルファーム（十和田市）、直販配送株式会社（渋谷区）

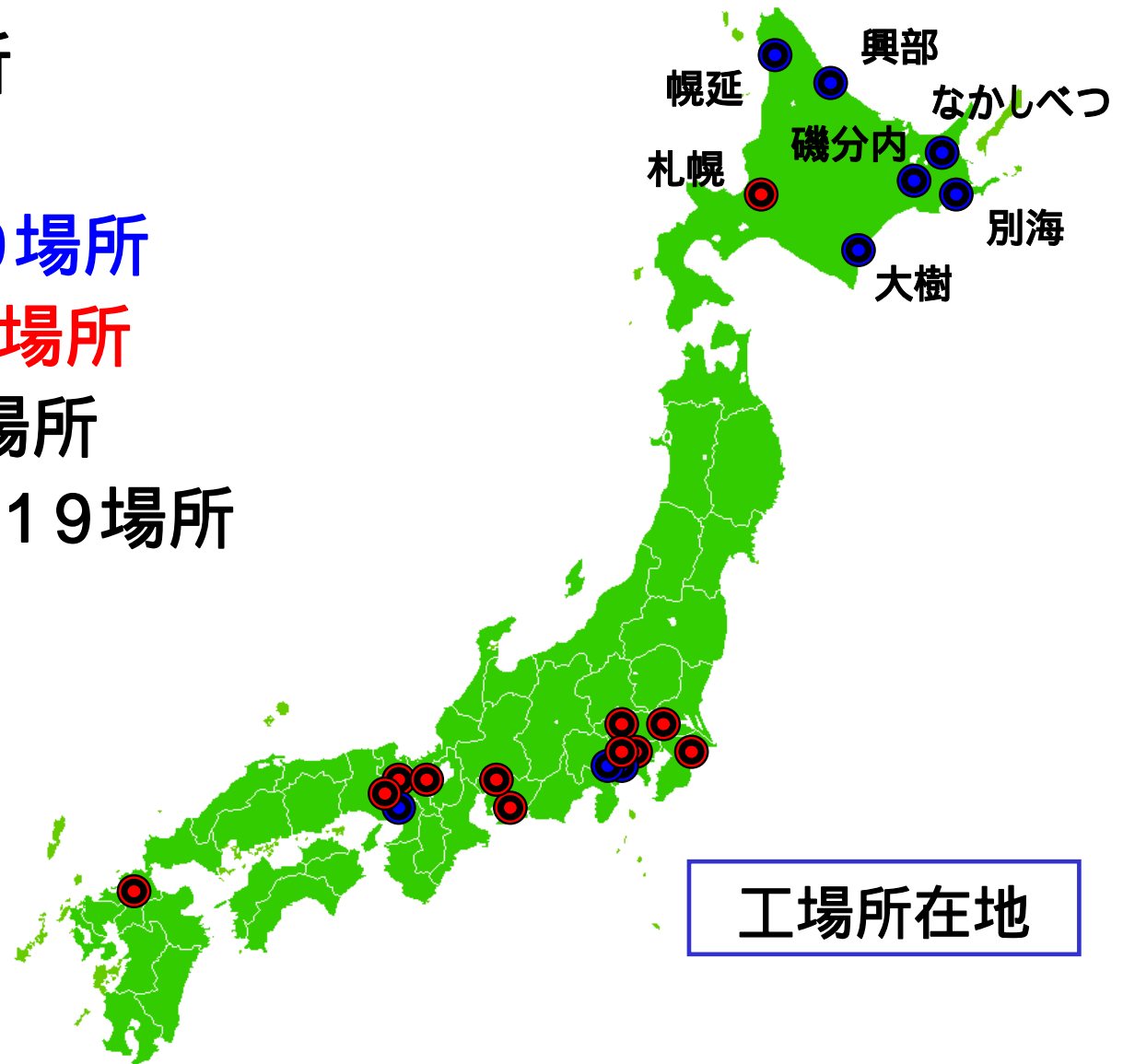


未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

雪印メグミルク(株)事業拠点

- ・ 研究所：6場所
- ・ 工場：21場所
 - 乳製品工場9場所
 - 飲料工場12場所
- ・ 販売本部：2場所
- ・ 支店、営業所：19場所



東日本大震災の影響

東日本大震災の被害について

生産設備の被害

- (1)みちのくミルク（宮城県）
- (2)いばらく乳業（茨城県）
- (3)雪印種苗 鹿島工場（茨城県）
- (4)雪印メグミルク 野田工場（千葉県）



東日本大震災後の状況について

3月

4月

生産設備の損壊
資材調達の困難
製品輸送の困難
原料輸送の困難



操業停止

生産再開

計画停電



生産見合わせ

生産再開

節電への取組み

工場	<ul style="list-style-type: none">・ 自家発電装置の移設・ 夜間生産へのシフト・ 商品の転送
支店 研究所 本社	<ul style="list-style-type: none">・ サマータイムの導入・ 照明、空調の節電・ クールビズの実施期間拡大

雪印メグミルクグループ

中期経営計画(平成21～平成25年度)

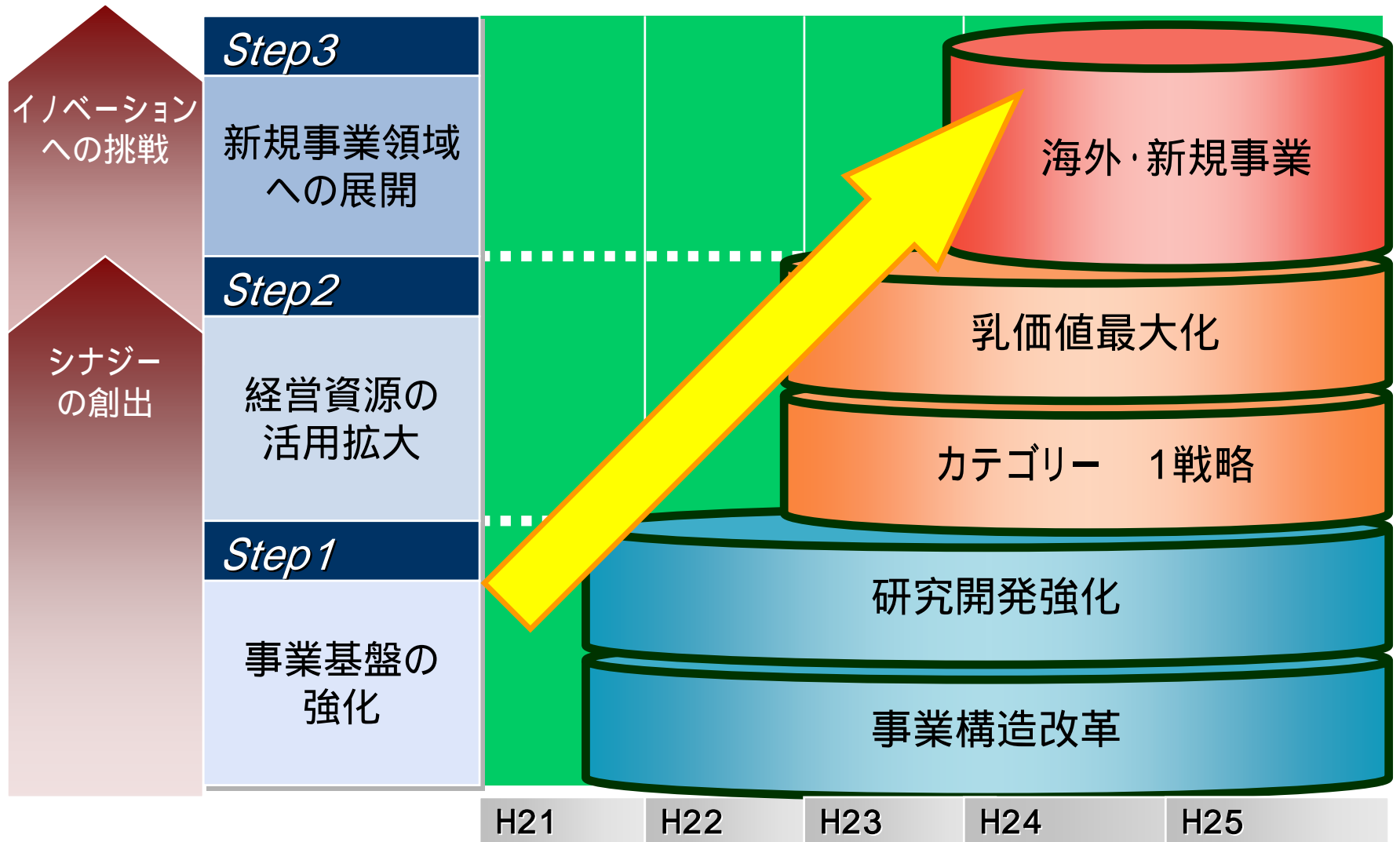
計数目標(連結)

	H20年度 (参考)	H21年度 (参考)	H22年度 (実績)	H23年度	H24年度	H25年度	
売上高	5,109	4,952	5,042	5,400	5,600	5,800	(単位:億円)
営業利益	124	142	156	170	190	200	

(注)H20年度およびH21年度の参考数値は、両社を単純合算したもののから日本ミルクコミュニティの持分法損益やグループ間の内部取引等を除外したものです。

シナジーの創出とイノベーションへの挑戦

< 中期経営計画の基本コンセプト >



中期経営計画の取組み経過

1. 事業構造改革

コストダウンの実施、調達力の強化、商談力の強化

2. 研究開発強化

ミルクサイエンス研究所の新設

3. カテゴリーNo.1戦略

乳飲料、ヨーグルト、デザート、ナチュラルチーズカテゴリーの売上拡大

4. 乳価値最大化

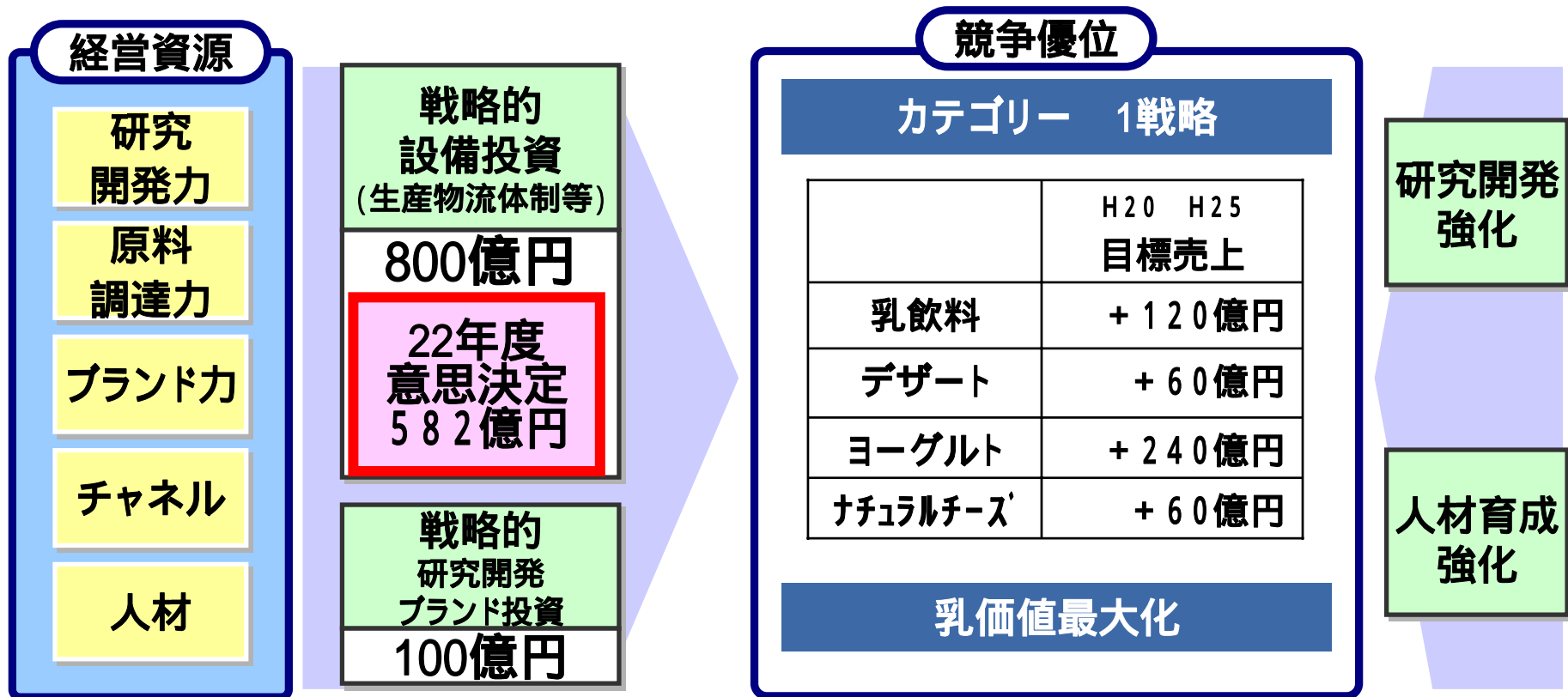
プロダクトミックス最適化の推進

5. 海外事業、新規事業領域への挑戦

海外事業、新規事業への挑戦

中期経営計画の施策

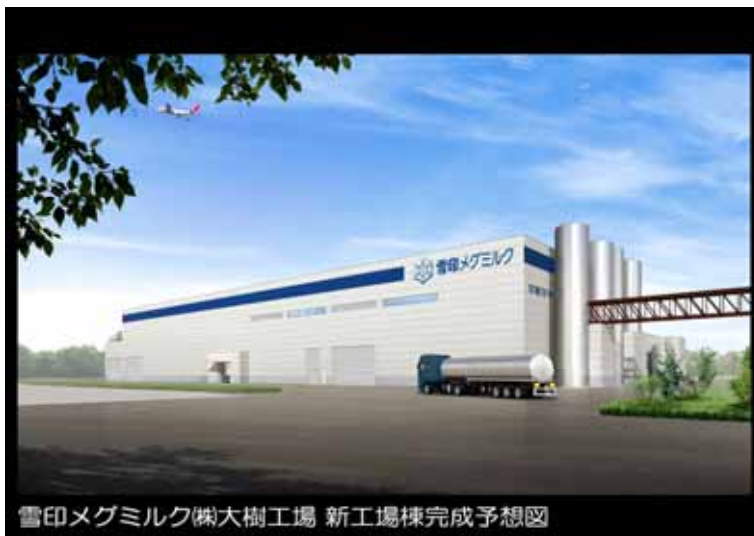
競争優位の強化(カテゴリーNo.1戦略推進)



経営資源の活用拡大 (Step 2)

戦略的設備投資

1



1. 大樹工場

さけるチーズ生産拡大

2. 乳製品統合工場

茨城県阿見町

3. 海老名工場

生産基盤の整備

2



3



**平成23年3月期決算の概要
と
平成24年3月期業績予想**

平成23年3月期決算の概要

1. 雪印メグミルク連結成績

(億円、%)

	22年3月期	23年3月期	増減額	前年比	業績予想	予想比
売上高	4,952	5,042	+ 90	101.8	5,100	98.9
営業利益	142	156	+ 14	109.9	155	101.0
経常利益	160	173	+ 13	108.3	165	105.1
純利益	94	93	1	98.5	100	93.3

2. 配当金

1株当たり25円

連結配当性向18.2%

平成24年3月期業績予想

1. 業績予想

(億円、%)

	金額	前年比
売上高	5,250	104.1
営業利益	170	108.6
経常利益	185	106.6
純利益	100	107.2

2. 配当金（予定）

普通配当	25円
合併記念配当	5円
1株当たり合計	30円
連結配当性向	20.4%

カテゴリーNo.1戦略

1. 乳飲料

- ・ 機能的強化乳飲料拡売
- ・ 豊富な商品展開



カテゴリーNo.1戦略



2. ヨーグルト

- ・ 当社独自の「ガセリ菌SP株」使用商品の拡売
- ・ 「恵megumi」ブランドの展開、4連パック新発売
(地域限定)



カテゴリーNo.1戦略

3. デザート

- ・ 独自技術(特許)による商品開発
- ・ 季節ごとに新商品を投入



カテゴリーNo.1戦略

4. ナチュラルチーズ

- ・ 雪印北海道100ブランドの強化
- ・ クリームチーズ新商品投入



中野社長の取組み

総合乳業
としての
総合力発揮

環境変化
への
即応力強化

新人事制度
「常に挑戦」

フラットな
組織

スピード経営

中期経営計画の着実な実行

カテゴリーNo.1戦略への集中と、
合併を通じた構造改革を推進し、
次世代型総合乳業メーカーを目指します。

C S R 経営に関して

企業理念

私たちの使命

消費者重視経営の
実践

酪農生産への貢献

「乳(ミルク)」にこだわる

コーポレートスローガン

未来は、ミルクの中にある。

私たちの使命

1. 「乳」にこだわる

「乳」の持つ可能性を「深め」、価値を「高め」、「拡げていく」

2. 酪農生産への貢献

(1) 酪農諮問委員会の開催

酪農生産者の声を経営に活かし、酪農乳業の持続的発展を目指します

(2) 酪農総合研究所による情報発信

経営改善、生産技術等

(3) 日本酪農青年研究連盟(酪青研)の活動支援

戦後間もない1948年に北海道の若き酪農生産者たちから始まった酪農実践研究団体で、設立以来60年以上にわたり雪印メグミルク(株)(前身:雪印乳業)が事務局として継続的にその活動を支援しています。

私たちの使命

3. 消費者基本法を根幹とした消費者重視経営

消費者基本法 (H16年制定)

消費者の8つの権利

向き合う

5つの事業者の
責務等

当社の 「4つの姿勢」

- ・安全で安心いただける商品の提供
- ・消費者への情報提供、情報開示
- ・消費者の声を傾聴し、経営に反映
- ・リスク体制により迅速、適切に対応

当社の 「7つの取組み」

- ・企業倫理委員会
- ・品質保証体制の確立
- ・リスク体制構築
- ・お客様センター
- ・お客様モニター
- ・HP運営
- ・食育、普及

経営統合後の具体的な取組み

1. 雪印メグミルク「企業倫理委員会」の開催



企業倫理委員会メンバー

- ・ 企業倫理
- ・ 品質
- ・ 消費者関連
- ・ 栄養学
- ・ 法律

の専門家

経営統合後の具体的な取組み

2. 職場における継続的なCSR活動



3. 「食の責任を強く認識し、 果たしていくことを誓う日の活動」 ～雪印の事件を風化させない～ を実施

(今年度は6月15日と1月下旬)



その他

1. 北海道包括連携協定
2. 雪印北海道 100 ブランドの展開
3. 酪農と乳の歴史館
4. I R 活動

北海道包括連携協定について

雪印メグミルク株式会社は、平成22年3月31日、北海道と連携と協力に関する協定書を締結しました。

平成19年3月に雪印乳業、雪印種苗、雪印パーラーで締結したものを、雪印メグミルクグループ発足を受け、雪印メグミルクと北海道との協定に発展させました。

[活動内容]



花いっぱい促進事業の応援



スキージャンプを通じた
冬季スポーツ振興への応援



雪印パーラー本店での地材地消による
「器も道産にこだわった北海道スイーツ」の提供



北海道ナチュラルチーズ製造技術
専門研修会の様子

雪印北海道100ブランドの展開



酪農と乳の歴史館(札幌市東区苗穂町)

- ・日本の酪農、乳業の発展の歴史をお伝えします。
- ・平成16年に北海道遺産に、館内の史料は平成21年に国の近代化産業遺産に登録されています。
- ・毎年約2万人の見学者をお迎えしています。



～ 見学のご案内 ～

予約制 011-704-2329

(電話受付 9:00～17:00)

土・日・祝祭日はお休みです。

酪農と乳の歴史館(札幌市東区苗穂町)の見どころ



昭和10年代に使用されていた冷却機(サリター型)や濃縮機(シングル真空釜)の実機です。



動くミニチュア模型



バター製造機は昭和30年代に木製からステンレス製に移行

IR活動

株主通信	個人株主様への情報発信
個人投資家説明会	経営見通し、事業説明
ホームページ IRサイト	<ul style="list-style-type: none">・株主総会の動画配信・決算説明会の質疑応答の掲載・中期経営計画ダイジェスト版の掲載

本日はまことにありがとうございました。

雪印メグミルク株式会社は、ミルクの新しい価値を創造することにより、社会に貢献する企業であり続けます。

今後とも、ご支援くださいますよう、
よろしくお願い致します。

未来は、ミルクの中にある。

